

# 子育て応援! こどもの命を守り のびのび育む 保育園を

4年間、文教児童委員として区の子育て政策を質してきました。保育は福祉であり、地方自治体が責任を持って行うべきだからです。議会で取り組むなかで保護者の方からさまざまな相談が寄せられました。



## Case 1 保育中の「置き去り」、どうしたら?

子どもを預けているあいだに、亡くなってしまう事件が全国で続いています。2016年には区内認可保育園で死亡事故がありました。また、園外活動の際に人数確認が徹底されず、子どもが置き去りになるという重大事案が発生していたことも調査でわかりました。安心・安全の保育は当然です! 区に対して要望を申し入れ、また議会でも取り上げ続けています。

## 石川すみえはこう考えます!

新型コロナパンデミックで、少子化は自治体の想定より早くすすんでしまいました。保育園は定員割れがおき、経営が厳しいとの声が多く寄せられています。わたしは定員未充足支援を求め、今年度からはじまりましたが、まだ不十分。  
これからは「もっとひとりひとりの子どもに向き合える保育に変えていこう」と政策転換が必要です。「子育て楽しい!」と思える板橋区にし、少子化を解決していきたい!

## Case 2 こどもに障がいがあったら、働けない?

「この子の行き場所がなかったらどうしよう」と涙する保護者の方が幼稚園のプレに通っていたが、いざ入園の時に断られた。保育園で要支援児枠はもう一杯、と断られた。そんな声がたくさん寄せられました。

議会でも取りあげるだけでなく、保護者のみなさんと一緒に、オンラインシンポジウムを複数回開催。保育園が決まったママから「いま、何年かぶりに仕事するための買い物にきています。自分のための買い物です! 羽が生えた気分です、嬉しい!」とメッセージがきた時、その気持ちを伝えてくれたことに感謝し、わたしも嬉しくなりました。

# 石川すみえ

日本共産党  
板橋区議会議員

# 区政報告 にじいろ通信

2022・2023 冬号

2023年4月から  
23区で

# 18歳まで 医療費無料化 が実現

所得制限なし

日本共産党区議団は  
「所得制限なし」を  
一貫して提案してきました。

くわしくは中のページへ

主な活動地域●大谷口1～2丁目、大谷口上町、大谷口北町、東新町、東山町、小茂根、向原、桜川、幸町、大山西町  
事務所●板橋区小茂根2-27-11 TEL 3974-2405 FAX 3974-2419  
日本共産党 板橋区議団控室●TEL 3579-2717

ご意見、ご要望をお聞かせください



石川すみえプロフィール(経歴)  
1983年10月6日、埼玉県生まれ。  
埼玉県坂戸高校、日本女子大学卒。大学院で歴史を研究しながら、シ  
ルカ博物館、立教新座中学高等学校で働く(非常勤)。専業主婦として  
子育てしている中で、親子ひろばの閉鎖と待機児童問題に直面。安保  
関連法に反対するママの会の活動を通して、日本共産党と出会う。  
中2男子のとき82才



毎月1回やります  
なんでも相談会  
小茂根2丁目の事務所にて

区政を動かす  
共産党  
OPEN



## 居場所を奪うな!

### 居場所を減らしてきた板橋区

わたしが区議会議員に挑戦しようと思ったきっかけは、区の「親子ひろば」がなくなってしまうこと。板橋区がなくなってしまうのは、子育てのための広場だけではありません。2022年には全てのいこいの家が廃止に。集会所を減らす計画は、コロナ禍で入っただけですが、計画が白紙になったわけではありません。  
大谷口1丁目の家が廃止になった後  
に、区は高齢者の居場所として、ケアハウスなどの運営が中止に。現在、この地域に高齢者が集える居場所と  
いふのがなくなっています。  
す。コロナ禍で人と会うのが減って、本当にこらい  
という声をたくさん聞いていま  
す。居場所の確保は、区が責任を  
持って行うべきです。

## 高校3年生までの医療費無料化

2020年は15名の区議会議員で条例提案。わたしは提案者として登  
弁を行いました。自民党、公明党、民主党、民主クラブ等はわたしたちの「所得制限  
なしで、板橋区で高校3年生まで医療費無料にしよう!」こどもの命と健  
康を守り、子育て世帯の経済的負担を軽減しよう!という提案に反対。  
15名でもっと広く区民の皆さんにわたしたちの提案を知ってもらおう、議  
会などで議論されたか知ってもらおう!と共同でチラシを作成  
し、区内にお住まいの方にポスターやチラシでお届けしました。そして2023  
年4月から実現します。

## なぜ「所得制限なしの無料化」が必要なのでしょう?

「格差な家庭なら、無料にしなくてはいけいのでは?」という意見もあり  
ます。わたしは、そもそも収入に応じて負担に納税しているのだから、子  
どもについては所得制限を設けるべきではないと考えています。また、保  
護者の収入が子どもに適切に使われるとは限りません。教育虐待、ネグ  
レクト…。子どもは家庭を選べません。すべてのごとにも、あらゆる機会  
を公平に用意していきたいと思っています。



## #子育てのリアルを 区政に届け、実現してきました!

- 保育園副食費(おかず代)の公費負担  
議員となり最初の一般質問で、取り上げ実現。
- 学校給食の牛乳代を区が負担することで  
家庭の給食費の負担を抑えました
- 区はこれまで頑なに「やらない」としてきた給食費の補助。食材費高騰  
も受け、どうしよう実現。
- 宿泊型産後ケア事業  
これまで初産のみ対象  
だったのが第二子以降の  
利用も明記。
- 第二子以降に拡大  
区立保育園受け入れスタート
- 医療的ケア児の  
区立保育園受け入れスタート
- 保育園の要支援児の入所率がアップ
- 保育園の申し込み書類の  
不要な性別欄の廃止  
まずは第一歩! 多様な家族  
の「子育て」を応援します。